第23回 多文化共生のための
国際理解教育・開発教育
セミナー

共に生きる地球社会の実現に向けて、
国際理解教育・開発教育の実践セミナーを開催します。

対象者：
国際理解教育・開発教育に関心のある
教職員、学校関係者、学生、高校生

参加費無料

2026年

8月3日(月)		8月4日（火）	
13:00～13:05	開会挨拶	13:00～14:30	分科会D,E,F
13:05～14:35	基調講演	15:00～16:30	分科会G,H,I
15:00～16:30	分科会A,B,C	16:40～17:00	クロージングセッション

開催場所： **JICA関西** **神戸市中央区脇浜海岸通1-5-2**

締　　切： **7月28日（火）**
※基調講演、各分科会の定員に達した場合は個々に締め切ります

申　　込： **URL** https://x.gd/725Jv **または右の二次元コードより**
お申込みフォームにアクセスいただき、必要事項をご記入のうえお申込みください
※お申込フォームがご利用になれない場合はメールに　①お名前　②ふりがな
③お住まい（都道府県・市区町村）　④年代　⑤属性（教職員・学校関係者・学生・高校生・その他）　⑥所属　⑦メールアドレス　⑧電話番号　⑨参加ご希望の回（基調講演、分科会A～I　※複数回申込可）をご記入のうえ　jicaksic-kaihatsu@jica.go.jp までお送りください。

お申込みフォーム

問 合 せ： **独立行政法人 国際協力機構（JICA）関西センター 市民参加協力課**
TEL 078-261-0384　　E-mail jicaksic-kaihatsu@jica.go.jp

共催：兵庫県教育委員会、神戸市教育委員会、
公益財団法人神戸YMCA、公益財団法人PHD協会、
公益財団法人アジア福祉教育財団難民事業本部、
独立行政法人国際協力機構関西センター（JICA関西）

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

私たちは 持続可能な開発目標（SDGs）を支援しています

プログラム

8月3日（月）

13：00-13：05　開会のあいさつ　講堂

13：05-14：35　基調講演　（定員100名）　講堂

世界と日本の国際労働移動の現状 ～多様化する児童生徒の背景から読み解く教育現場への示唆～

【講師】国立社会保障・人口問題研究所　国際関係部長　是川　夕

【内容】世界と日本の国際労働の現状をデータに基づいて整理しながら、変動する社会の中で学校教育が子どもたちの国際的な視野や思考力をどのように育んでいけるのか、その役割を考える講演です。

14：35-　団体紹介　講堂

15：00-16：30　分科会A　分野：平和、多文化共生　（定員50名）　講堂

ポーポキ、多文化共生は平和と同じ？ みんなで考えて、表現しましょう

【講師】神戸大学　名誉教授、ポーポキ・ピース・プロジェクト　代表　ロニー・アレキサンダー

【内容】平和が大好きなねこ、ポーポキ。お絵描きも物語も新しいアイデアも大好き。もちろん、多文化共生も。最近、みんなと一緒に平和と多文化共生の関係性について考えたくなってきた。その関係性を頭も身体も心もつかってワークしてから物語を作りませんか。

15：00-16：30　分科会B　分野：開発教育、教育　（定員35名）　ブリーフィングルーム

「違い」を子どもたちにどう伝える？　～兵庫の教員が伝える、2学期から使える授業づくりのヒント～

【講師】2025年度JICA教師海外研修参加者
西宮市立安井小学校　福田　優那、私立啓明学院中学校・高等学校　谷本　百合香、
神戸市立原田中学校　本倉　佳世子、神戸市立灘さくら支援学校　宮上　和志

【内容】JICA関西教師海外研修でペルーを訪れた教員の、現地での学びを活かした国際理解を深められる授業を体験！ワークショップ形式で、小中高や特別支援学校の2学期の授業づくりのヒントをお届けします！

15：00-16：30　分科会C　分野：国際協力×国際理解教育　（定員32名）　セミナールーム31・32

地球市民の一人として

【講師】国際スポーツ連携センター　代表　酒井　正人

【内容】出会いが人生を変え、世界が広がる。地球市民として生きるとは何か。国際理解は身近な他者理解から始まります。豊富な海外経験と人のつながりを力に、子どもの未来を切り拓く学びへの還元を実践的に提案します。

8月4日（火）

13：00-14：30　分科会D　分野：多文化共生、子ども、教育　（定員50名）　講堂

『豊かに共生する絆』を育む

【講師】兵庫県教育委員会事務局人権教育課　子ども多文化共生センター　主任指導主事　三谷　修

【内容】県内の子ども多文化共生教育にかかる現状と課題を理解するとともに、どうすればすべての児童生徒に『豊かに共生する心』を育むことができるのか、授業実践をふまえて考えます。

13：00-14：30　分科会E　分野：多文化共生、やさしい日本語　（定員40名）　ブリーフィングルーム

教育現場での外国人住民とのコミュニケーション「やさしい日本語」ワークショップ

【講師】NPO法人多言語センターFACIL　理事長　李　裕美

【内容】地域で暮らす外国人にとって、母語以外で一番なじみがあるのは日本語の場合が多いです。「やさしい日本語」は相手に合わせて表現を工夫して言い換え、わかりあうためのスキルです。ワークショップで「やさしい日本語」を体験してみませんか？

13：00-14：30　分科会F　分野：多文化共生×国際理解教育　（定員32名）　セミナールーム31・32

言語と生きる, living the language

【講師】国際理解授業「One Worldプログラム」講師　黄　立恩 (Ernest Jacob)

【内容】「言語と生きる, living the language」とは、言葉を学ぶだけでなく、その背景にある文化や価値観と共に生きることです。日本語ゼロで来日した経験をもとに、大学生になった今、自分のルーツに自信をもって語ることの意味を伝えます。

15：00-16：30　分科会G　分野：難民　（定員50名）　講堂

難民とは

【講師】難民事業本部　支部長　中尾　秀一

【内容】あなたの家族が難民になったらどうしますか。難民とはどのような人で、避難民とはどう違うのか、難民の定義や避難しなければならない原因、難民の身に降りかかる困難について、教室ですぐに使えるシンプルな手法で考えます。

15：00-16：30　分科会H　分野：国際協力、教育、子ども　（定員50名）　ブリーフィングルーム

カンボジアの学校から考える異文化理解

【講師】JICA海外協力隊 カンボジア/小学校教育（現職教員特別派遣）　阪上　瑞穂

【内容】カンボジアで活動するJICA海外協力隊の小学校教員とオンラインでつなぎ、現地での活動を紹介します。異なる教育環境の場面から「自分ならどうするか」を考え、対話で学びを深めます。子どもの学びや教育について、一緒に考えてみませんか。

15：00-16：30　分科会I　分野：多文化共生、開発教育　（定員30名）　セミナールーム31・32

となりの外国人～共感からの多文化共生～

【講師】NPO法人開発教育協会（DEAR）　代表理事　佐藤　友紀

【内容】日本には、多くの外国につながる人たちが暮らしています。いつ日本に来たの？日本で働くための資格ってなに？アクティビティを通して、知り、想像し、共感しながら多文化共生をすすめるための一歩を考えましょう。